

新しい公共支援事業の成果等報告  
(都道府県が実施した支援事業分 (ただし、委託業務分を除く。))

1. 成果等報告

事業名	寄附促進に向けたNPO認知度向上事業 (シンポジウム「今、改めて考える寄附」)	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
都道府県名	神奈川県	
実施期間	平成 23 年 7 月 23 日	
業務内容	<p><b>1 趣旨</b></p> <p>東日本大震災の被災地・被災者の支援のため多くの募金がなされ、寄附に対する関心が高まっている。また、(当時)寄附税制の拡充が見込まれており、本県においても制度整備に向けた検討を進めている。</p> <p>このような背景の下、改めて寄附の今日的な意義を検証し、また、神奈川における寄附促進のあり方に関する討議を行うため、シンポジウムを実施した。</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>積極的に寄附促進に取り組んでいるパネリストを迎え、寄附の社会的意義などについて討論した。</p> <p>○日時 平成 23 年 7 月 23 日 (土) 14 時 30 分～16 時 30 分</p> <p>○場所 横浜情報文化センター</p> <p>○登壇者</p> <p>[パネリスト]</p> <p>跡田直澄氏 (嘉悦大学副学長、NPO 法人に対する寄附促進の仕組みづくりに関する検討委員会委員長)</p> <p>駒崎弘樹氏 (NPO 法人フローレンス代表理事)</p> <p>関根健次氏 (ユナイテッド・ピープル代表取締役)</p> <p>[司会]</p> <p>山元香里氏 (フリーアナウンサー)</p> <p>○内容 ・あいさつ&lt;神奈川県知事からのビデオレター&gt;</p> <p>・パネリストの活動紹介</p> <p>・パネルディスカッション</p> <p>・神奈川県の寄附促進策の検討状況の紹介&lt;意見募集の案内&gt;</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>○参加者 84 人</p> <p>○アンケート結果 (回答 38 件)</p> <p>職業等 : NPO 関係者 32%、公務員 27%、会社員 11%、その他 30%</p> <p>寄附の経験 : 継続的 39%、ときどき 26%、数回 21%、経験なし 14%</p> <p>満足度 : 非常によい 63%、まあまあ 32%、ふつう 5%、悪かった 0%</p> <p>&lt;アンケートの主な意見・感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印象に残ったパネリストの言葉 : 3 月 11 日を寄附の日にする</li> <li>・税制が改善されたのは大きな改善である</li> <li>・前向きに寄附集めに取り組む気持ちになった など</li> </ul>	
評価ラック	<p><input type="checkbox"/>S : 特に優れた成果が得られた    <input type="checkbox"/>A : 優れた成果が得られた    <input checked="" type="checkbox"/>B : 一定の成果が得られた    <input type="checkbox"/>C : 限定的であるが成果が得られた    <input type="checkbox"/>D : 成果が得られなかった</p> <p>(該当する評価に『』を付けてください。)</p>	

2. 添付書類

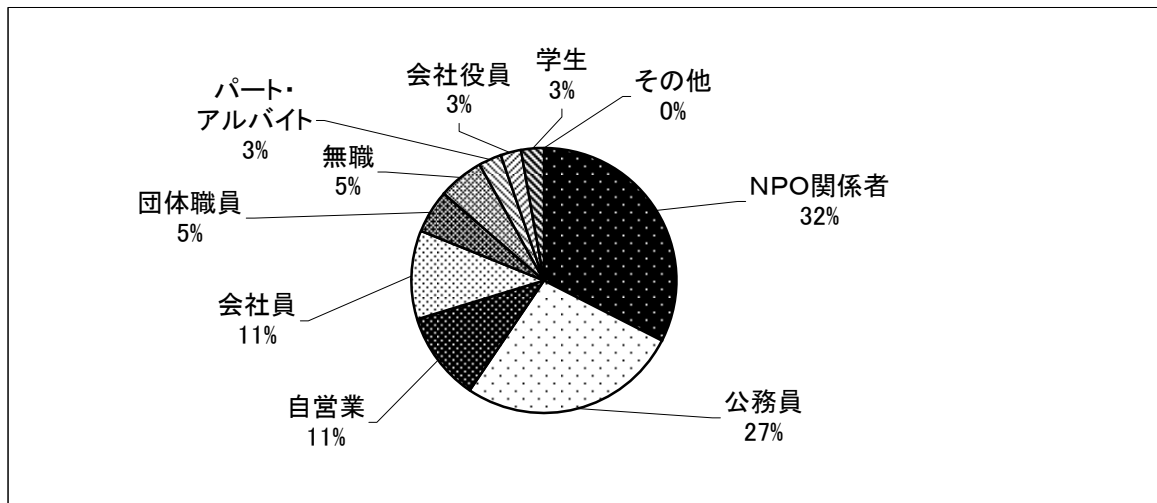
シンポジウム「今、改めて考える寄附」(H23. 7. 23) 参加者アンケート

# シンポジウム「今、改めて考える寄附」 (H23. 7. 23) 参加者アンケート

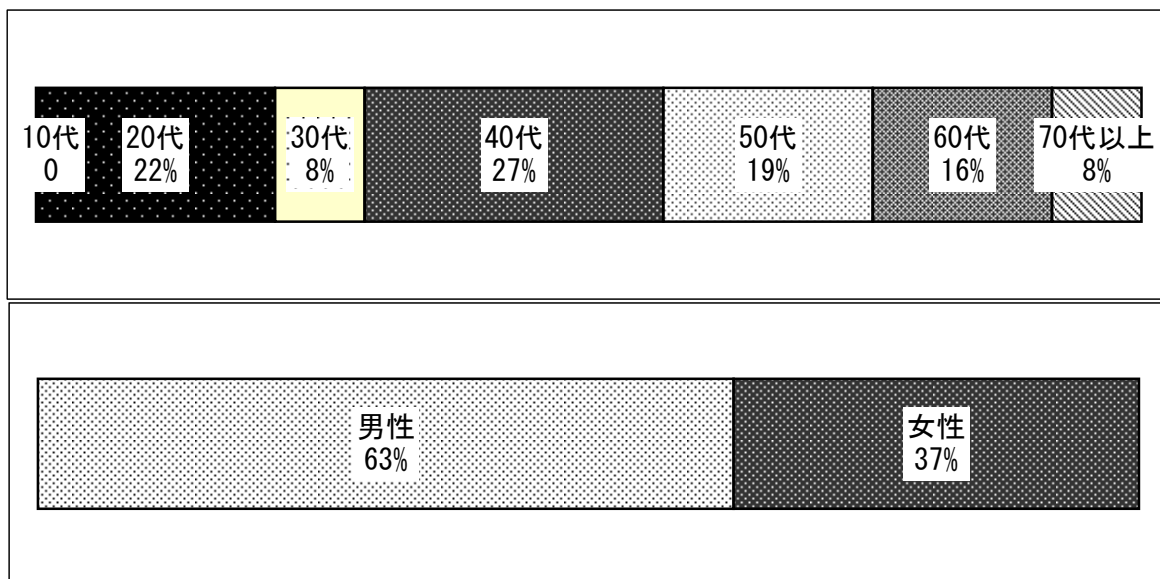
[参加者 84名 アンケート回答 38件 (回収率45%) ]

【あなた自身に関すること】

1 ご職業は、次のどれにあてはまりますか？



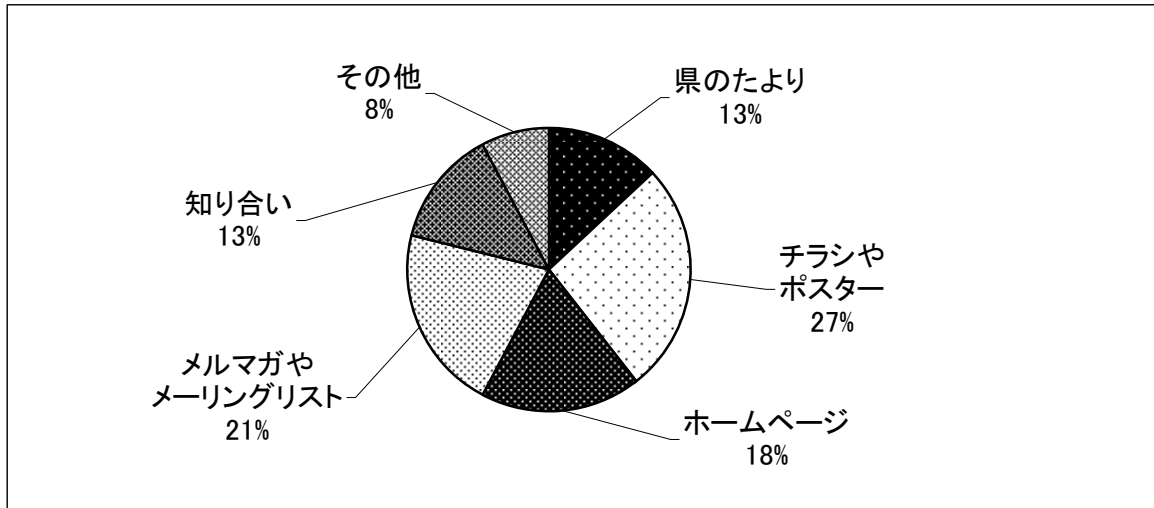
2 よろしければ、年代と性別を教えてください。



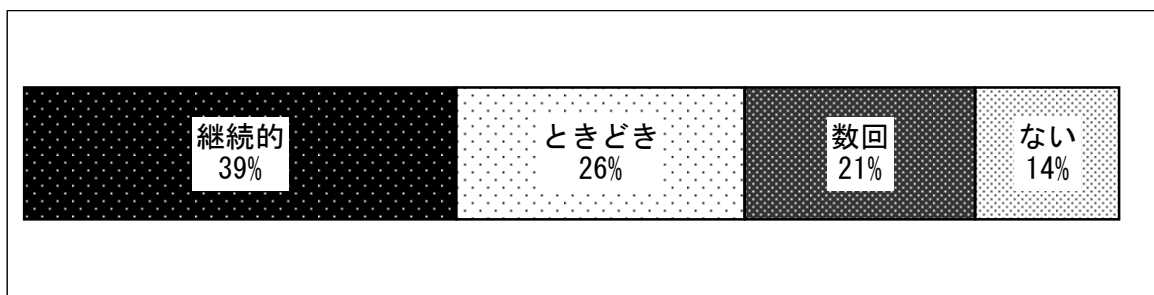
3 お住まいはどちらですか？

横浜市内	15件	川崎市内	5件		
湘南地域	4件	横須賀三浦地域	3件	県央地域	1件
県外	8件				

4 このシンポジウムの開催をどのようにしてお知りになりましたか？



5 市民活動団体・NPOなどに対して寄付をした経験はありますか？



【本日のプログラムに関すること】

6 シンポジウムの内容はいかがでしたか。



7 パネリストの発言のなかで印象に残ったこと	
<p>&lt;跡田氏&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宣伝力</li> <li>・民から民が終局目標</li> <li>・これからのNPOには営業力を！</li> <li>・義援金のあり方</li> <li>・「キフの日」「キフの市場をつくる」</li> <li>・民から民でない、本当の寄付でない。</li> <li>・公益認定の条件として'3K100'の話</li> </ul>	<p>&lt;関根氏&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOなら、日本政府やJAICAが入っていけない地域にも入って入れる。</li> <li>・「寄付の日」創設</li> <li>・募金サイト「イーココロ！」を立ち上げ、トータルで9000万円の寄付を生み出した。</li> <li>・「寄附」の先を見据える</li> <li>・3.11は寄附の日創設、ボランティア経済の発展</li> <li>・3.11 キフの日</li> <li>・寄付の日を作る</li> <li>・寄付の日</li> <li>・“寄付の日”を作りましょう</li> <li>・「寄付の日」3月11日</li> <li>・消費文化はもうたくさん。「寄付の日」を。</li> <li>・寄付の日を作ろう。</li> <li>・人の心に訴え、心を変えていくこと</li> <li>・ウェブマーケットについて為になった。</li> <li>・寄付の日“3.11”の設定、ACTION(寄付)</li> </ul>
<p>&lt;駒崎氏&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからのNPOには営業力を！</li> <li>・非常に芯のある、意志のあるお言葉に感銘をうけるとともに、勉強になった。</li> <li>・行動あるのみ</li> <li>・寄付する。寄付を集める。</li> <li>・我々NPOが努力していかなければいけない時代が来た。</li> <li>・「営業」という言葉をいやがらず、アクションを起こす。</li> <li>・NPOが行動する</li> <li>・寄付は成功した人が行うものでない。</li> </ul>	

8 意見や感想	
1	寄付に対する税制が改善されたのは、大きな前進だと思います。税制改革に尽力された駒崎さんは、素晴らしいです。 若いパネリストお二人が、いずれもIT業界出身というのは、大きな意義があるのではないのでしょうか。寄付文化の定着は、SNSが大きな役割を果たすように思います。SNSの自立的組織力と実名主義がカギと思います。
3	司会、コーディネーターのまとめ方。 パネリストの方々の個性豊かな貴重なお話、どれもとても理解しやすくよかったです。 参加者はNPO法人関係者ばかりで、普通の学生が少ないような気がしました。もったいないです。 多様性のある参加者を、せめて、教育・福祉・経済・法系の学生とか、集められたら、骨子案への意見が幅広いものになるとと思いますね。
5	赤い羽根共同募金の事務局をやっています。また、所属する団体は会員組織です。 現在、定期的に時期がきたからやる。とりあえず会員組織だから会費のお願いする。それだけでは、本当にもうダメだと感じました。 募金も会費も、目標額があって、自治会のノルマまであるのは、本当に異常だと思う。
7	パネリストの積極姿勢は勉強になった。タイタニックの例えは無駄です。わざわざ暗礁に乗り上げる船長は変えなければダメ。
9	寄附を行為によって、根づかせる。社会の課題解決のために、勇気を出して言う。言いまくる勇気がわかりました。パネリストの話にも感銘。
20	このような場を設けていただきありがとうございます。
22	前向きに、寄付集めに取り組む気持ちになりました。
23	団体に持ち帰り、寄付金を集められるように努力したい。認定NPOをとりたい。
26	“感謝”
29	昨日、目にとまったシンポジウムでしたが、有意義な時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。
31	司会者の方が、質問者の方を指名する際「おとうさん」と言われたのは、聞き苦しかった。
33	市民の認知度が低いと思います。小さな政府の説明をどのようにしかけるかが、大変重要と思います。
34	パネリストの発言には、上から目線を感じました。 「お金を与える」「寄付をたのむのはいやしい」と言われたが、こちらがわにもやましいことがなければ、私がもらうのではないから、いやしいとは思わないのではないか。彼の発言には目立ちやのカゲがちらちらしていました。
35	NPOの情熱、他団体との横の連携はよく分かるが、知名度を上げない(上がらない)のは、自己満足では？ カテゴリーの違うNPO全体のアピールが必要では。教育的分野にプログラミングはできないの？
36	司会の方がうまく情報と理性で進められたので、わかりやすかったです。ありがとうございました。
37	主体的な市民が、どれだけ増えていくかが最も大切だと思います。 パネリストのHPにあるユーザー評価のしくみが、社会にもっと発展拡充していくとよいと思います。

新しい公共支援事業の成果等報告  
 (都道府県が実施した支援事業分 (ただし、委託業務分を除く。))

1. 成果等報告

事業名	寄附促進に向けたNPO認知度向上事業 (共感獲得実践セミナー)	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)	
都道府県名	神奈川県	
実施期間	平成 24 年 3 月 18 日、21 日、23 日	
業務内容	<p><b>1 趣旨</b></p> <p>かながわ寄付をすすめる委員会の協議結果に基づき、NPOに対する寄附のさらなる促進のため、今年度取り組んだ成果を生かしたNPO向けのファンドレイジングに関する講座を開催した。</p> <p><b>2 内容</b></p> <p>キャンペーン・サイト「かなチャリ」100%活用術や最新ファンドレイジング事情について、講義形式による講座を行った。</p> <p>○日時 平成 24 年 3 月 18 日 (日) 13:30~16:00                  平成 24 年 3 月 21 日 (水) 13:30~16:00                  平成 24 年 3 月 23 日 (金) 18:30~21:00</p> <p>○場所 かながわ県民センター</p> <p>○講師                  イノウエヨシオ氏 (かながわ寄付をすすめる委員会委員長・(株)ファンドレックスプロデューサー)                  手塚明美氏 (かながわ寄付をすすめる委員会委員・NPO 法人藤沢市市民活動推進連絡会 事務局長)                  益永律子氏 (かながわ寄付をすすめる委員会委員・NPO 法人NPOサポート茅ヶ崎代表理事)                  奥津茂樹氏 (かながわ寄付をすすめる委員会委員・NPO 法人ぐらす・かわさき副理事長)</p> <p>○内容 ・神奈川チャリティアクション・キャンペーンとは                  ・キャンペーンの広告デザインを使って広報アイテムを作ろう                  ・キャンペーン・サイト「かなチャリ」100%活用術                  ・最新ファンドレイジング事情                  ・振返り</p>	
得られた成果及び自己評価	<p>○参加者 32 人</p> <p>○アンケート結果 (回答 31 件)</p> <p>満足度：とてもよい 56%、まあまあ 29%、ふつう 6%、あまりよくない 6%、よくない 3%</p> <p>&lt;アンケートの主な意見・感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンドレイジングについて、良く理解できた。活用を考えたい。</li> <li>・広告することの重要性、ソーシャルメディアを活用することなど色々なヒントが得られた。 など</li> </ul>	
	評価ランク	<input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に〓を付けてください。)

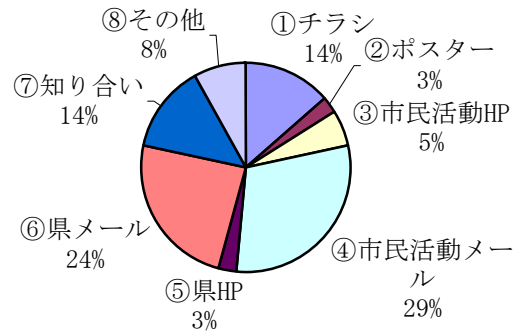
2. 添付書類

NPOのための共感獲得実践セミナー参加者アンケート集計結果

## NPOのための共感獲得実践セミナー参加者アンケート集計結果

### Q1 本日のセミナーは、何で知りましたか？

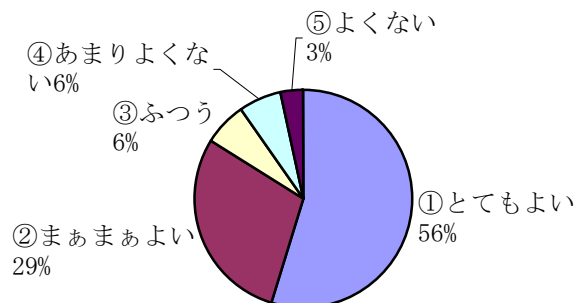
①チラシ	②ポスター	③市民活動HP	④市民活動メール	⑤県HP	⑥県メール	⑦知り合い	⑧その他	計
5	1	2	11	1	9	5	3	37



n=37

### Q2 本日のセミナーは、いかがでしたか？

①とてもよい	②まあまあよい	③ふつう	④あまりよくない	⑤よくない	計
17	9	2	2	1	31



n=31

#### 【主な意見】

##### ①とてもよい

- ・「かなチャリ」の詳しい話などが聞けて良かった。
- ・ファンドレイジングについて、良く理解できた。活用を考えたい。
- ・Facebook、Twitterをやってみようと思えた。

##### ②まあまあよい

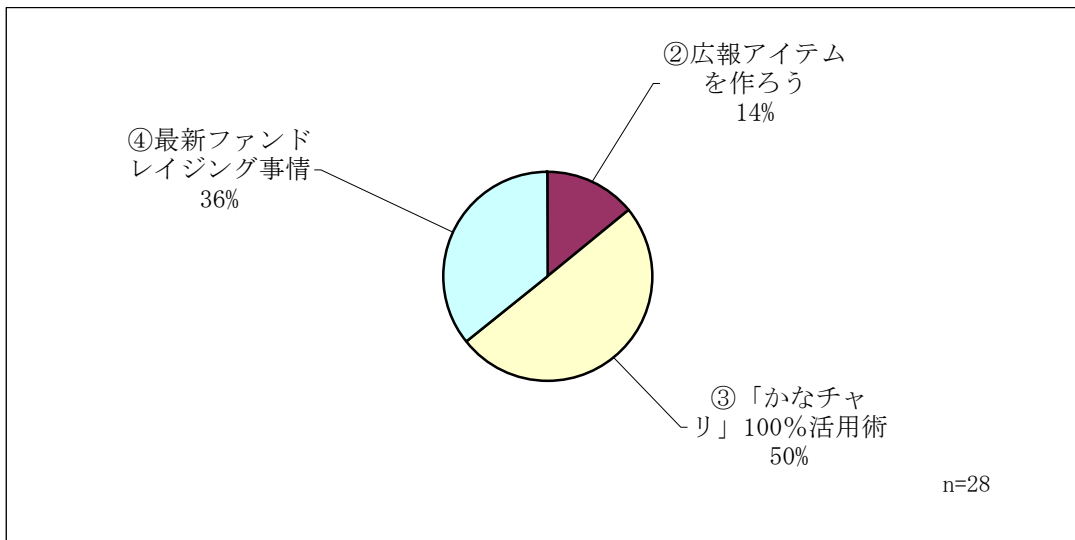
- ・いろいろな事例を知ることができ、参考になった。
- ・NPOの資金集めの方法として個人寄付が有効であることがわかった。
- ・広告することの重要性、ソーシャルメディアを活用することなど色々なヒントが得られた。

##### ③ふつう

- ・かなチャリについては、良く認識できておらず、説明頂いたことが咀嚼が出来なかった部分がある。
- ・どうすれば「共感」を獲得できるか、というベースの所にふれられなかった気がする。

### Q3 最も役に立つと思ったプログラムはどれでしたか？

①神奈川チャリティアクション・キャンペーンとは	②広報アイテムを作ろう	③「かなチャリ」100%活用術	④最新ファンドレイジング事情	計
0	4	14	10	28



#### Q4 意見・感想(主なもの)

##### ■肯定的な意見

- ・とてもわかりやすかった。いろいろな事例を知ることができたのが良かった。
- ・沢山のヒントをもらえ、今後の活動に役立つ。
- ・また聞きたいと思った。今後も続けていただきたい。
- ・寄付の考え方や重要性を理解することが出来た。特に社会参加の重要な方法であるとの指摘には感銘を受けた。
- ・楽しみながら社会参加を続けていくための貴重な示唆を受けた。NPOの情報発信の重要性がわかった。
- ・広報に焦点をあてて非常にわかりやすかった。繰り返し聞いても非常に役に立つ。
- ・ツイッター等、ソーシャルメディアの活用にチャレンジしてみたくなった。
- ・事例が身近で活用が可。情報発信と入手をもう少し知りたい。
- ・ソーシャルメディアの活用がNPOにも必要だとわかった。

##### ■否定的な意見

- ・事例の羅列では「実践」に直結するとは思えない。
- ・新しい情報があまりなかった。
- ・初めて聞く事が多くあり、専門用語をお話された時はチンプンカンプンな部分がほとんどだった。
- ・ツイッター、フェイスブックを使うとどのようなメリットがあるのかわからなかった。ツールを使うためには、お金はあまり必要ではないと思うが、リスク負担や時間を取られることになり、その負担に見合うメリットが何なのかわからない。
- ・“ファンドレイジング事情”については、何度聞いてもためにはなるが、昨年末の研修と重複していたので、少し残念。

#### Q5 今後、開催を希望するセミナーがあればテーマを教えてください。(主なもの)

- ・寄付を集めるキャンペーンを考える時に他団体でどのような話し合いがあったのかを知ることができるセミナー
- ・ふりかえりシートの内容を考えるセミナー
- ・県内のファンドレイジング事例
- ・専門的な部分は別に調べられるサイトの紹介
- ・NPOを運営していく上での、問題解決ポイントなど、会員の増加、スタッフのまきこみなど、他の団体の話を聞ける機会、同じような活動をしているNPOごとの勉強会や情報交換
- ・より具体的なソーシャルメディア活用のためのセミナー